

ここが大きな違い！5つの比較ポイント

遮熱シートと断熱材は
使う場所も役割も違います！
それを知ることが、最適な対策の第一歩です！



① 熱の対策場所が違う！

遮熱シート（熱を入れない）

建物の**内側**で使用するのが基本！



内側

屋根や外壁の内側に施工し、
太陽の輻射熱（放射熱）を反射！
建物の中に**熱を入れません**。

断熱材（熱を遅らせる）

建物の**外側や壁の中**などに使用！



外側や
壁の中

熱の伝わりを遅らせ、
室内の熱の移動を抑える。
時間をかけて効果を発揮します。

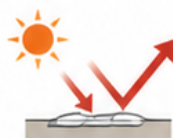
VS

つまり、役割が違います！

遮熱シート

入る前に防ぐ！

熱を反射して
建物の中に入れない！



断熱材

いった後に遅らせる！

熱の移動を
遅らせて保つ！



💡 日傘と魔法瓶の違いに近いイメージです！



日傘＝遮熱シート（熱を入れない）



魔法瓶＝断熱材（熱を逃がさない）

② 効果の出方が違う！

遮熱シート

すぐに効果を実感！



「施工して
すぐに違いを
体感できます！」

太陽の輻射熱をその場で反射。
施工直後から温度が下がります。

断熱材

じわじわ効果を発揮！



「時間をかけて
効果が出ます。」

熱の移動を遅らせるため、
効果が出るまでに時間がかかります。

③ 薄さ・軽さが違う！

遮熱シート

薄くて軽い！



厚み：0.2～1mm程度
重量：とても軽い

建物への負担が少なく、
施工もスピーディー！

断熱材

厚くて重い！



厚み：数十mm～
重量：重い

下地の強度やスペースの
確保が必要です。

④ 施工のしやすさが違う！

遮熱シート

施工が簡単！



シートを吊る・貼るだけ！
工期が短く、コストも抑えやすい！

断熱材

施工に手間がかかる！



下地施工や隙間処理など
手間と時間がかかります。

⑤ 主な目的が違う！

遮熱シート

「暑さ対策」がメイン！



夏の暑さ（輻射熱）対策に
圧倒的な効果を発揮！

断熱材

「保温・結露対策」がメイン！



冬の寒さ対策や、
結露対策に効果的！

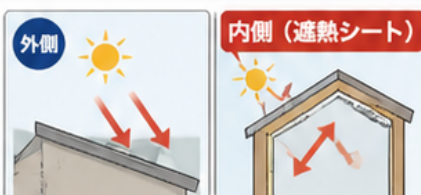
まとめ

それぞれの特性を理解して、
目的に合った材料を選ぶことが、
最も効果的でムダのない対策に
つながります！



ポイント！

遮熱シートは「建物の**内側**」で使用するのが基本！
太陽の輻射熱を反射して、建物の中に熱を入れません！



遮熱シートと断熱材、
それぞれの得意分野を活かして、
快適で省エネな環境を
実現しましょう！

